

第三章 警 防

1. 火 災

(1) 月別火災発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数(件)	3	4	3	4	0	1	1	1	2	1	2	3	25
火災種別	建 物(件)	3		2	3		1		2	1	1	2	15
	林 野(件)											1	1
	車 両(件)		1	1	1			1			1		5
	その他(件)		3				1						4
焼損程度棟数	全 焼(棟)				1				4			2	7
	半 焼(棟)	1							1			1	3
	部分焼(棟)	2			2							5	9
	ぼ や(棟)		1	2	1		1		1	1	1		8
罹災世帯	全損(世帯)	1			1				1			1	4
	半損(世帯)								2				2
	小損(世帯)			2	1					1		1	5
罹災人員(人)	3		3	3				6	2		5	22	
死傷者	死 者(人)			1									1
	傷 者(人)				1				1		1		3
焼損面積	建 物(m ²)	946		46	85				277			376	1,730
	林 野(a)											2	2
	その他(a)		22										22
損害見積額(千円)	建 物	148,934		46	2,624		38		10,200	7	15	24,459	186,323
	林 野												0
	車 両		30	480	1,119			20			1,246		2,895
	そ の 他		162										162
	合 計	148,934	192	526	3,743	0	38	0	20	10,200	7	1,261	24,459

※建物の焼損面積については、床面積とする。

(2) 用途又は出火物件

令和3年1月1日～令和3年12月31日

種 別	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建 物 火 災	住 宅	1		2	2				1	1		2	9
	納 屋				1								1
	店 舗												0
	倉 庫	1											1
	工 場	1											1
	共同住宅												0
	そ の 他						1		1		1		3
林 野											1	1	
車 両		1	1	1				1			1	5	
そ の 他		3					1					4	
合 計	3	4	3	4	0	1	1	1	2	1	2	3	25

(3) 時間・原因別火災発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

原因別	時間別												計
	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	
たき火の火の粉								1					1
た き 火							1						1
石油ストーブ											1		1
簡易型ガスコンロ								1					1
帯電衣類のスパーク									1				1
内 燃 機 関						1							1
液化石油ガスを用いる固定したガス設備					1								1
掃 除 機												1	1
その他の配線器具								1					1
蓄 電 池					1								1
か ん な 屑						1							1
ごみ焼却炉の火の粉								1					1
テーブルタップ										1			1
火のついたゴミ								1					1
煙 突									1				1
交通機関内配線								1					1
石油バーナー				1									1
研磨機の火花								1					1
放 火								1					1
放火の疑い							1						1
不 明	1	1				1		1	1				5
合 計	1	1	0	1	2	3	2	9	3	1	1	1	25

(4) 過去5力年の出火原因

原因別	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
ガスバーナー				1		
石油バーナー						1
ガスこんろ(ガステーブル含む)		2	1	1	1	
簡易型ガスこんろ		1				1
テーブルタップ			1			1
電気コンロ			1			
溶接機・切断機					1	
石油ストーブ			1	1		1
電気ストーブ				1		
電気こたつ		1				
排気管突		1			1	
煙イライ		1		1		1
送風機						
掃除機						1
たばこ			1	3		
たき火			4	2	1	1
枯れ草焼				2	1	
たき火の粉		1	1		2	1
衝撃の火花						1
研磨機の火花						1
帯電衣類のスパーク						1
内燃機関					1	1
その他の配線器具			1			1
屋内配線						
接続器		1				
液化石油ガスを用いる固定したガス設備						1
配電線(高圧)			1		1	
コンデンサー(低圧)				1		
蓄電池						1
消し炭薪					1	
てんぷら鍋						
変電設備内配線		1				
枯草焼却中の飛火						1
ごみ焼却炉の火の粉						1
漏電					1	
かんな屑						1
火のついたゴミ				1		1
その他の裸火			1		1	
車体等の衝撃火花		1				
エンジン					1	
風呂かまど			1		1	
その他のまき(炭窯)				1		
取炭					1	
ハンドトーチ					1	
発電機(オルタネーター)					1	
バッテリー					1	
交通機関内配線					1	1
ブレーキライニング					1	
炭火					1	
線香				1		
その他のレンジ				1		
放火				1	2	1
放火の疑い			6	4	7	1
不明		9	9	4	2	5
合計		19	29	26	32	25

(5) 警防隊の訓練や講習会

火災、救急、救助等の多種多様な災害に対応するため、年間を通じて各種訓練等を行い災害対応力の向上に努めています。

ここでは、令和3年度中における主な訓練や講習会をご紹介します。

1 警防技術訓練

火災防ぎょ体制の強化並びに若年層職員の早期教育を図るとともに、現場活動における部隊能力向上のため訓練を実施しています。



2 神経剤解毒剤自動注射器取扱い講習会

東京オリンピック開催に伴い、想定しうる化学(神経剤)テロに対抗するため、病院内にいる医師や看護師ではなく、ファーストレスポnder(現場対応者)である私達が、神経剤解毒剤投与の早期使用の有効性や、投与の際に使用する自動注射器の使用方法を熟知し、迅速かつ的確な現場活動を遂行する為、インストラクター資格を有する当消防本部職員による講習会を開催しました。



3 山岳救助合同訓練

隣接消防本部及び茨城県防災航空隊との連携を強化し、消防力の充実を図ることを目的として石岡市上曾地内足尾山において訓練を行いました。



4 救急技術訓練

救急隊員に求められることは日々高度化しています。救急救命士を含む救急隊員の生涯教育の一環として、処置や判断能力の向上と更なる救急業務充実を図るために訓練を実施しています。



2. 救 急

(1) 救急出動状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 別	種 別 区 分	合 計	救 急 事 故 種 別											不 搬 送		
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送		医 師 搬 送	そ の 他
1	出動件数(件)	292	3			19	2		40	1	2	191	23		11	
	搬送件数(件)	259				18	2		39	1	1	175	23			33
	搬送人員(人)	263				21	2		39	1	1	176	23			
2	出動件数(件)	261	1			18	1	1	35		2	165	25		13	
	搬送件数(件)	234				17	1	1	33		2	153	25		2	27
	搬送人員(人)	236				19	1	1	33		2	153	25		2	
3	出動件数(件)	268	2			22	6		36	1	2	159	33		7	
	搬送件数(件)	240				20	6		34	1	1	145	33			28
	搬送人員(人)	243				23	6		34	1	1	145	33			
4	出動件数(件)	294	2			23	6		36	4	3	186	27		7	
	搬送件数(件)	260				18	6		32	4	3	170	27			34
	搬送人員(人)	261				19	6		32	4	3	170	27			
5	出動件数(件)	262				19	3	1	39		2	182	13		3	
	搬送件数(件)	241				17	3	1	36		2	169	13			21
	搬送人員(人)	243				19	3	1	36		2	169	13			
6	出動件数(件)	273				20	4		37	1		180	28		3	
	搬送件数(件)	248				17	4		35			164	28			25
	搬送人員(人)	255				23	4		36			164	28			
7	出動件数(件)	301				17	2		45		2	201	20		14	
	搬送件数(件)	264				10	2		43		1	188	20			37
	搬送人員(人)	265				11	2		43		1	188	20			
8	出動件数(件)	313	1			16	3		48	1	4	206	22		12	
	搬送件数(件)	273				11	3		42	1	3	191	22			40
	搬送人員(人)	273				11	3		42	1	3	191	22			
9	出動件数(件)	280	2			25	1		32	1	4	182	28		5	
	搬送件数(件)	251	1			22	1		31		2	166	28			29
	搬送人員(人)	255	1			26	1		31		2	166	28			
10	出動件数(件)	284				17	5	1	36		3	192	21		9	
	搬送件数(件)	253				14	5	1	33		1	178	21			31
	搬送人員(人)	253				14	5	1	33		1	178	21			
11	出動件数(件)	273	2			21	2	1	44		1	173	22		7	
	搬送件数(件)	246	1			17	2	1	40		1	162	22			27
	搬送人員(人)	246	1			17	2	1	40		1	162	22			
12	出動件数(件)	333	3			29	4	1	58	1	5	198	25		9	
	搬送件数(件)	283				24	4	1	51	1	4	173	25			50
	搬送人員(人)	284				25	4	1	51	1	4	173	25			
総 数	出動件数(件)	3,434	16	0	0	246	39	5	486	10	30	2,215	287	0	100	
	搬送件数(件)	3,052	2	0	0	205	39	5	449	8	21	2,034	287	0	2	382
	搬送人員(人)	3,077	2	0	0	228	39	5	450	8	21	2,035	287	0	2	

(2) 曜日別・事故種別出動件数

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 曜日	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
											転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
月 曜				30	9		75		8	356	58		19	555
火 曜	3			25	6	1	72		8	335	44		12	506
水 曜	4			39	6	1	72		5	301	55		9	492
木 曜	4			42	5		58		1	327	46		16	499
金 曜	2			30	8	1	63	2	2	288	34		10	440
土 曜	2			44	3	2	78	3	4	301	38		18	493
日 曜	1			36	2		68	5	2	307	12		16	449
合 計	16	0	0	246	39	5	486	10	30	2,215	287		100	3,434

(3) 傷病程度別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 傷病程度	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
											転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
死 亡				3			2		1	57				63
重 症				8	2		60		2	162			47	281
中 等 症				33	15	1	123	1	9	861			204	1,247
軽 症	2			184	22	4	265	7	9	955			38	1,486
そ の 他														
合 計	2			228	39	5	450	8	21	2,035			289	3,077

- ※ (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものを言う。
- (2) 重症とは、傷病程度が三週間の入院加療を必要とするもの以上を言う。
- (3) 中等症とは、重症又は軽症以外のものを言う。
- (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものを言う。
- (5) 傷病程度の「その他」は歯科医院等に搬送したものを言う。

(4) 署所別救急出動及び搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 区分	合計	救急事故種別												不 搬 送		
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他	
出 動 件 数	石 岡	1,254	8			77	7	3	184	3	8	762	159		43	141
	柏 原	629	7			66	11	1	71	5	8	406	41		13	77
	愛郷橋	390				30	7		61	2	3	254	24		9	37
	八 郷	647				42	7		114		4	449	19		12	55
	山 崎	514	1			31	7	1	56		7	344	44		23	72
	計	3,434	16			246	39	5	486	10	30	2,215	287		100	382
搬 送 人 員	石 岡	1,119	1			73	7	3	168	2	7	699	159			
	柏 原	558	1			62	11	1	65	5	5	367	41			
	愛郷橋	357				31	7		55	1	2	237	24			
	八 郷	600				37	7		112		3	422	19			
	山 崎	443				25	7	1	50	4		310	46			
	計	3,077	2	0	0	228	39	5	450	12	17	2,035	289			

(5) 事故種別・年齢別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 年齢区分	救急事故種別												計			
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他					
											転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他		
新 生 児											3				3	
乳 幼 児				3					32			55	2			92
少 年				28		4	19					43	2			96
成 人	2			129	26	1	97	5	20	550			92			922
老 人				68	13		302	3	1	1,384			193			1,964
合 計	2			228	39	5	450	8	21	2,035			289			3,077

(6) 発生場所別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

区 分	発 生 場 所 別					計
	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	
急 病	1,521	409	46	45	14	2,035
交 通	2	11		213	2	228
一 般 負 傷	291	95	4	43	17	450
そ の 他	29	294	36	2	3	364
計	1,843	809	86	303	36	3,077

(7) 救急講習会実施状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

区 分	回 数	参加人数
一 般 講 習	1	10
普 通 救 命 講 習 I	20	167
普 通 救 命 講 習 II	0	
普 通 救 命 講 習 III	3	9
救 命 入 門 コ ー ス	4	102
合 計	28	288

(8) 救急救命士配置状況

令和4年4月1日現在

署所別 階 級	消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所	合 計
消防司令長	3	1			1		5
消防司令	1	1			1	1	4
消防司令補		3	3	2	4	1	13
消防士長		3	1		1		5
消防副士長		2		2	1	1	6
消 防 士		1	3	1		1	6
合 計	4	11	7	5	8	4	39

3. 救 助

(1) 救助出動状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件／人)

区 分	事 故 種 別										合 計
	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
	建 物	そ の 他									
出 動 件 数	6	1	27	2			1			25	62
救 出 人 員	1	1	11	1			1			18	33

(2) 行 事

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 日	実 施 項 目	場 所	参加人員	備 考
7月8・9日	解毒剤自動注射器研修	石岡市消防本部	78	
10月6日	消防職員専科教育第32期救助科講師	茨城県立消防学校	1	
11月25・26日	山岳救助合同訓練	足尾山山林	27	筑西広域消防本部合同
12月13日	第24回全国消防救助シンポジウム	石岡消防署オンライン	15	

(3) 訓練状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：回／人)

訓練種別 区 分	体 力 練 成	ロープ 結 索	検 索 救 助	器 具 扱 扱	救 助 定 定	水 難 救 助	梯子車	その他	合 計
実施回数	55	66	7	30	31	5	12	11	217
実施延人員	527	779	26	124	131	18	52	42	1,699

(4) 救助隊員配置状況

令和4年4月1日現在

署所別 階 級	合 計	専任救助隊 (兼任)		兼 任 救 助 隊			
		消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所
消 防 司 令	2	1	1				
消防司令補	2		1			1	
消 防 士 長	12		8			4	
消防副士長	4		1	2		1	
消 防 士	9		5			3	1
合 計	29	1	16	2	0	9	1

4. 情報通信

(1) 災害覚知別受信状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件)

種 別	着信件数	119専用回線			その他
		N T T 固 定 電 話	I P 電 話	携 帯 電 話	加 入 電 話 等
火 災	56	15	9	28	4
救 急	3,287	653	945	1,360	329
救 助	51	17	7	23	4
その他災害	106	25	14	46	21
病院問合せ	1,149	29	42	166	912
通 報 訓 練	351	76	3	5	267
そ の 他	218	47	21	150	0
合 計	5,218	862	1,041	1,778	1,537

※種別その他…災害問合せ、間違い、いたずら等

(2) 緊急通報システム受信状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救 急	3	5	3	5	4	3	6	9	6	3	25	9	81
救 助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の災害	0	1	1	2	0	0	2	0	0	1	5	0	12
相 談	1	0	0	2	1	9	0	0	1	4	0	6	24
電池切れ	6	1	0	1	3	7	2	21	5	3	5	8	62
テスト通報	20	27	184	11	0	14	0	0	6	0	2	29	293
そ の 他	17	4	7	14	7	8	8	6	5	14	13	7	110
合 計	47	38	195	36	15	41	18	36	23	25	50	59	583

(3) 気象年報

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(標高33m)

月	平均風速 (m/s)	平均風向	最大瞬間 風速 (m/s)	月平均 気温 (℃)	月平均 相对湿度 (%)	実効湿度 (%)	10分最大 雨量 (mm)	月積算 雨量 (mm)
1	0.7	北西	12.3	3.6	61.0	61.6	0.5	28.0
2	0.9	西北西	15.2	6.4	51.1	51.6	7.0	62.5
3	1.2	北東	16.1	11.1	65.1	63.6	3.5	124.5
4	1.5	北東	14.7	13.6	61.9	62.1	9.0	138.0
5	1.5	南南西	15.5	18.7	73.3	72.9	2.5	73.5
6	1.2	北東	13.0	13.0	77.3	76.6	2.0	81.0
7	1.1	北東	9.9	25.4	81.7	82.2	9.0	190.0
8	1.5	南南西	17.8	26.9	80.4	80.7	11.5	251.5
9	1.2	北東	9.8	21.6	80.9	80.9	5.5	92.0
10	0.9	北北西	12.4	17.1	78.4	78.6	2.5	132.5
11	0.6	南西	8.6	11.8	72.6	73.0	4.5	49.5
12	0.7	北西	12.3	5.9	66.1	67.0	8.5	132.0

(4) 119番通報入電から緊急出動まで

現在の社会情勢や自然環境の変化に伴い複雑・多様化する災害に迅速・的確に対応するため、県内20消防本部（33市町）は、水戸市内原町にある「いばらき消防指令センター」における消防指令業務の共同運用を平成28年6月から開始し、当石岡市管内の119番通報の受信場所も「いばらき消防指令センター」となりました。

県内33市町村の119番通報がいばらき消防指令センターにつながります。



いばらき消防指令センター

通報内容から要請場所を特定し、最寄りの消防署に出動指令をかけます。



管轄担当署所

各災害に対応した消防車や救急車を出動させます。



消防車



救急車



火災



救急

早期に医療介入が必要と判断した場合、ドクターヘリやドクターカーを要請します。



ドクターヘリ

地上からの救助活動が困難な場合、防災ヘリを要請し共に活動します。



茨城県防災ヘリ